
キミと見た空。

心愛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キミと見た空。

【Nコード】

N13040

【作者名】

心愛

【あらすじ】

私。

実^{みなぎ}凧 美^{みか}華は、超が付くほどの、オトコらし。

そんな、私を変えてくれた、キミ。

ねえ……。

もう一度キミには逢えないのかな??

最低な私。（前書き）

はじめまして!!

心愛っています。

初めてで、ダメダメかもしれませんが、是非読んでください。

最低な私。

美華「はあー。」

大きなため息をつく私。

こと、実凧^{みづぎ} 美華^{みか}

結衣「みつかー!!」

大声で、叫ぶ私の親友。

こと、黒瀬^{くろせ} 結衣^{ゆい}

結衣「どうしたの?? 元気ないじゃん。元氣だけが取り柄なのに」
笑)

美華「……。」

結衣「えっ?? ちょ。マチどうしたの??」

美華「拓海と別れた。」

結衣「えー！！！！あんなに好きだったのに？？」

美華「何かさあ。まあ、めんどくさくて。」

結衣「それだけで？？」

美華「そう。それだけ。」

はい。

見ての通り、たらしです。

だつてさあ。

色んなオトコが好きなんだもん。

誰か、一人に恋するとかさ、無理ちゃん。

オトコって、絶対に浮気するじゃん？？

私は、誰か一人を好きになって傷つくとか

そんな思いをしなかったから、逃げた。

この時の私は最低だったよね？？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1304o/>

キミと見た空。

2010年10月9日02時07分発行